

静岡県月例経済報告

(平成27年5月号)

……平成27年3月を中心とした県内経済のすがた……

No. 469

—静岡県経済産業部—

目 次

I	静岡県経済の概況	1
II	静岡県主要経済指標の概況	4
	・ 需要面	4
	・ 生産面	12
	・ 雇用面	15
	・ その他	18
III	静岡県主要産業の動向	22
IV	データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成27年3月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

平成27年3月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱めの動きもみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、個人消費での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、やや弱めの動きとなっている。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しつつある。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需 要 面

◎個人消費は、やや弱めの動きとなっている。

大型小売店販売額(3月)は、百貨店が6か月連続、スーパーが2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(3月)は、乗用車が8か月連続、軽自動車が3か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも12か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(3月)は、持家が13か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家が6か月連続、分譲住宅が3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも12か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(3月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年4月1日)の27年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(3月)は4か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しつつある。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額(3月)は、エアコンが5か月連続、自動車、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機、科学光学機器がいずれも2か月ぶり、二輪自動車類が9か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(3月)は、自動車の部分品や魚介類が前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、952億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数(2月)は、電気機械工業や食料品・たばこ工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも8か月連続で前年水準を下回った。また、3か月連続で前月を上回った。

また、産業用大口電力消費量(3月)は、8か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(2月)は、総合では3か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(3月)は1.12倍で、前月を0.01ポイント下回ったものの、14か月連続で1倍を上回った。また、3か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(3月)は、20か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(2月)は、3か月連続で前年水準を上回った。

その他

◎物価は、前年を上回った。

消費者物価指数(4月)は、総合で103.5となり、前年水準を上回った。

また、前月比は0.3%上昇した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(3月)は、前年同月比2.6%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(3月)は、前年同月比7.6%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を上回った。

企業倒産(4月)は、件数は25件、負債総額は前年同月比43.5%増と、いずれも前年実績を上回った。

《 県の取組 》

【ミラノ国際博覧会！ふじのくにの「食」を世界に！】

ミラノ国際博覧会が、平成27年5月1日から10月31日まで開催されています。

県は、県内4市1団体及び山梨県とともに、8月23日から27日までの5日間、日本館イベント広場に参加します。世界文化遺産富士山と多彩な「食」を世界に向けて発信し、「販路開拓の足掛かり」と「訪日客の来静」を狙います！

1 ジャパンデーレセプション（日本館主催）での静岡茶の提供

日 時：7月11日（土）19時から22時30分

内 容：日本の食文化のPRのため、各国VIPなど500人を招待

政府は、静岡茶を日本を代表するドリンクとして提供（白葉茶等の水出し）

2 日本館イベント広場でのステージパフォーマンス

日 時：8月23日（日）～27日（木）（5日間）11時から22時30分

内 容：山梨県（パンフレット配布）との合同参加、県内4市1団体も参加

静岡の食材を調理実演や試食試飲により紹介

実演者：食の都仕事人：西谷文紀（イタリアン） 一木敏哉（和食） 田形治（蕎麦）

3 ギャルドイタリー（日本の食文化紹介拠点）が開催するパーティー

日 時：7月2日（木）18時から21時30分

内 容：デザイナーやクリエイター等の情報発信力のある方々を招待

県産食材を使った調理実演、試食試飲

実演者：食の都仕事人：西谷文紀（イタリアン） 一木敏哉（和食） 田形治（蕎麦）

4 二つ星レストラン「Cracco（クラッコ）」でのプロモーション

日 時：7月3日（金）・4日（土）

内 容：現地レストラン関係者や輸入者等を招待

県産食材を使用した料理を提供し商談に繋げる。

静岡県がPRする食材

					
静岡茶	生山葵	日本酒 (誉富士)	かつお節	高糖度トマト	静岡県産和牛

実演者

西谷 文紀氏 生山葵ソース と県産和牛等		田形 治氏 静岡抹茶を使っ た茶蕎麦打ち		一木 敏哉氏 かつお節出汁 日本酒嗜き酒		吉野 亜湖氏 静岡茶の美味 しい入れ方	
----------------------------	---	----------------------------	---	----------------------------	--	---------------------------	---

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

3 月 = 35,890百万円

*前年同月比： 13.9%減

(県内3百貨店、144スーパー合計)

<概況>

3月の大型小売店販売額は35,890百万円で、前年同月比13.9%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比24.4%減)が6か月連続、スーパー(同10.5%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、衣料品(同17.8%減)、身の回り品(同24.0%減)がいずれも6か月連続、飲食料品(同4.3%減)が11か月ぶり、家庭用品(同27.9%減)が12か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月は13.6%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
販売額(百万円)	35,907	33,764	34,918	36,376	45,063	37,943	32,103	35,890
前年同月比(%)	0.2	0.8	▲0.8	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲0.7	▲13.9
うち百貨店(%)	1.6	3.4	▲3.7	▲1.9	▲1.3	▲2.5	▲3.7	▲24.4
スーパー(%)	▲0.1	0.2	▲0.1	▲0.6	▲0.9	▲0.1	0.0	▲10.5
(参考1)全国前年同月比(%)	1.6	0.5	0.0	1.2	0.1	0.0	1.3	▲13.0
うち百貨店(%)	2.0	1.7	0.2	1.5	0.6	▲0.4	3.5	▲17.7
スーパー(%)	1.4	▲0.1	▲0.1	1.0	▲0.2	0.3	0.2	▲10.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	1.4	2.1	0.0	▲0.2	▲0.6	▲0.8	▲1.4	▲13.6

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
衣料品	▲2.5	3.6	▲3.1	▲7.0	▲4.9	▲6.6	▲3.4	▲17.8
うち紳士服・洋品	▲4.2	5.6	0.6	▲7.1	▲5.1	▲7.5	▲1.3	▲12.8
うち婦人・子供服・洋品	▲2.7	3.0	▲4.8	▲6.4	▲5.4	▲6.3	▲3.4	▲18.5
身の回り品	▲1.7	4.8	▲7.9	▲3.3	▲4.1	▲3.5	▲11.6	▲24.0
飲食料品	0.8	0.9	0.9	1.5	0.1	1.9	1.0	▲4.3
家庭用品	▲4.1	▲9.1	▲8.2	▲9.6	▲8.1	▲8.4	▲9.3	▲27.9
うち家庭用電気機械器具	▲23.9	▲17.8	▲12.7	▲15.6	▲13.1	▲14.8	▲18.9	▲24.7

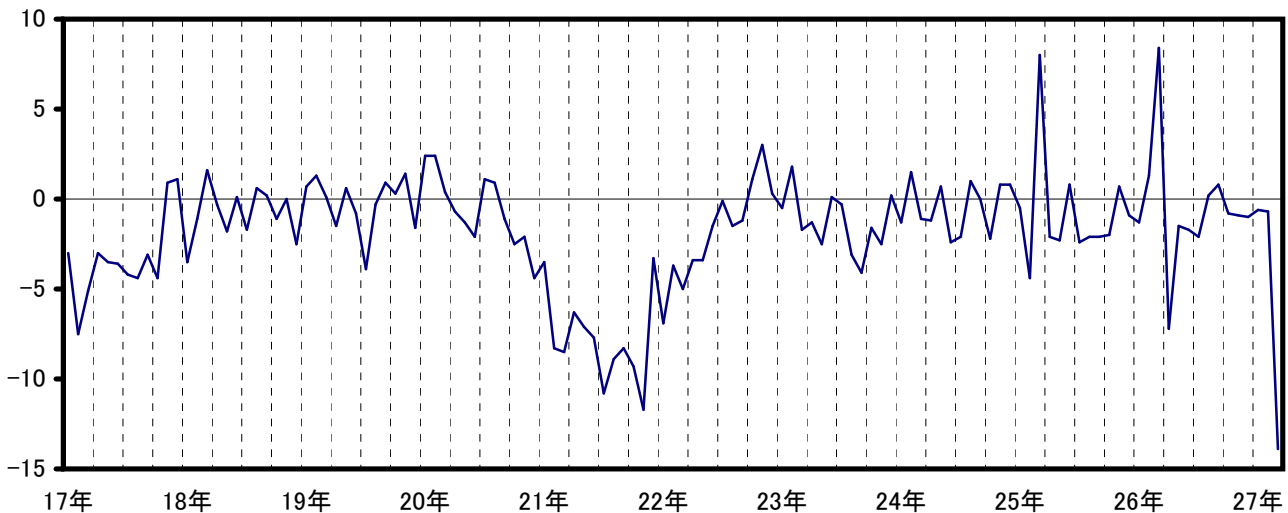
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

3月 = 7,011百万円

*前年同月比： 25.6%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

3月の県内3百貨店の販売額は7,011百万円で、6か月連続で前年実績を下回った。
品目別にみると、衣料品(前年同月比23.2%減)、身の回り品(同30.7%減)がいずれも6か月連続、家庭用品(同35.7%減)が7か月連続、食料品(同6.8%減)、雑貨(同44.1%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
販売額(百万円)	5,195	5,700	5,986	6,921	9,275	7,119	5,500	7,011
前年同月比(%)	0.0	1.8	▲5.2	▲3.4	▲2.9	▲3.9	▲5.2	▲25.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.3	▲0.7	▲2.2	▲1.0	▲1.7	▲2.8	1.1	▲19.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

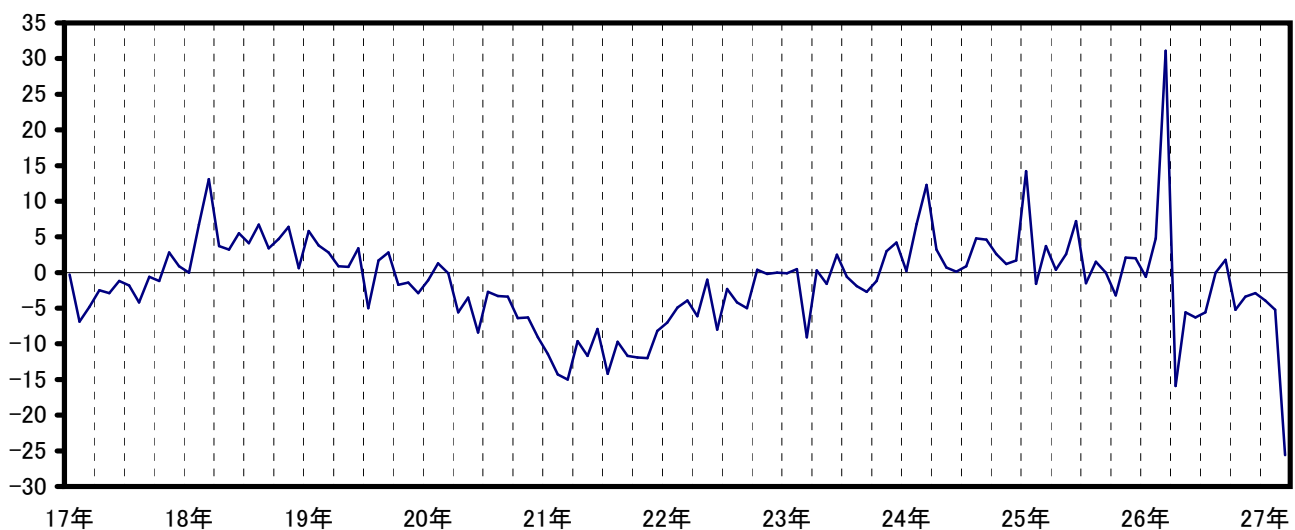
	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
衣料品	1.3	3.1	▲5.7	▲4.8	▲6.5	▲7.6	▲7.2	▲23.2
うち紳士服・洋品	3.3	3.0	▲0.7	▲2.0	▲3.7	▲6.4	▲1.6	▲14.5
婦人服・洋品	▲0.6	4.0	▲7.2	▲5.4	▲7.1	▲7.6	▲8.7	▲25.7
子供服・洋品	6.1	▲5.5	▲10.1	▲4.0	▲12.1	▲6.9	0.2	▲17.6
身の回り品	▲10.0	6.1	▲9.5	▲5.3	▲7.5	▲6.1	▲18.2	▲30.7
家庭用品	0.5	▲9.3	▲11.8	▲5.7	▲6.2	▲7.7	▲5.8	▲35.7
食料品	0.9	▲3.1	▲0.6	▲2.3	▲2.8	1.1	▲1.1	▲6.8
雑貨	0.4	4.3	▲6.0	1.1	9.6	4.5	▲1.8	▲44.1
うち美術・宝飾・貴金属	▲4.1	▲1.9	▲12.5	▲5.3	21.0	13.2	▲6.9	▲56.6

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比(%)

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

3月 = 24,066台

*前年同月比： 9.3%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

3月の自動車(新車)新規登録台数は24,066台(前年同月比 9.3%減)となり、12か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 15.2%減)が8か月連続、軽自動車(同 2.2%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
登録台数(台)	11,287	16,904	13,228	14,149	14,156	14,885	18,188	24,066
前年同月比(%)	▲ 12.4	▲ 12.2	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 9.5	▲ 3.2	▲ 7.4	▲ 10.2	0.3	▲ 20.7	▲ 17.8	▲ 11.9

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

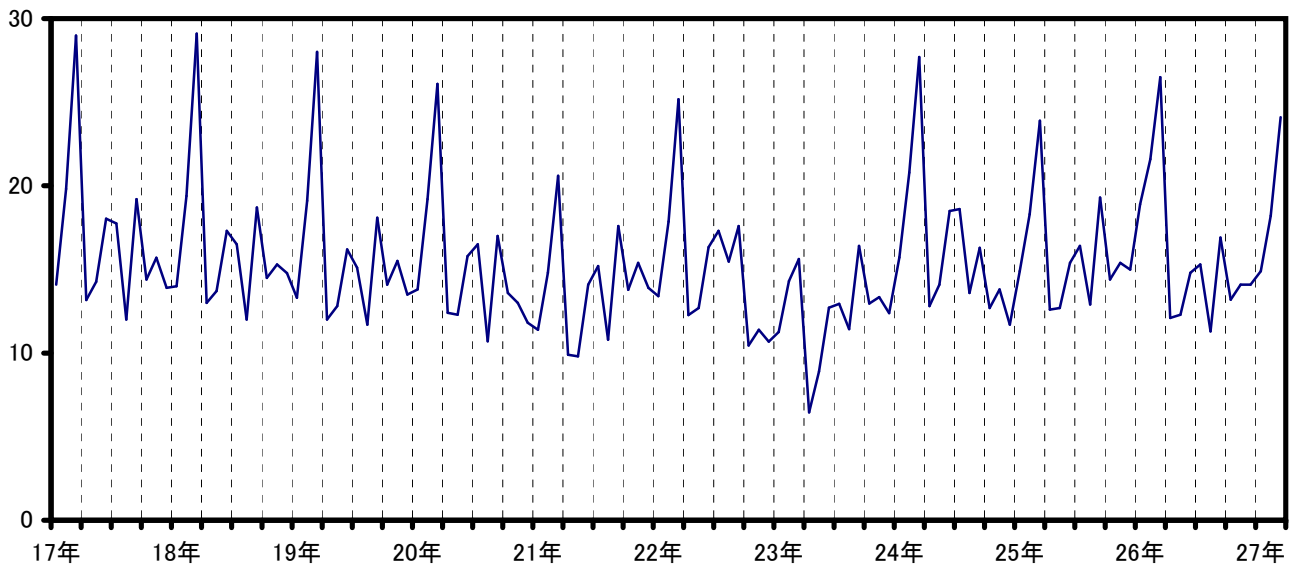
	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
全乗用車	▲ 12.4	▲ 12.2	▲ 8.3	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3
乗用車	▲ 9.1	▲ 12.5	▲ 11.4	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 26.0	▲ 18.3	▲ 15.2
軽自動車	▲ 15.9	▲ 11.8	▲ 4.4	2.7	4.7	▲ 16.1	▲ 13.4	▲ 2.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

3月 = 1,751戸

*前年同月比： 7.4%減

<概況>

3月の新設住宅着工戸数は1,751戸で、前年同月比 7.4%減となり、12か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 6.4%増）が13か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家（同 20.4%減）が6か月連続、分譲住宅（同 20.7%減）が3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

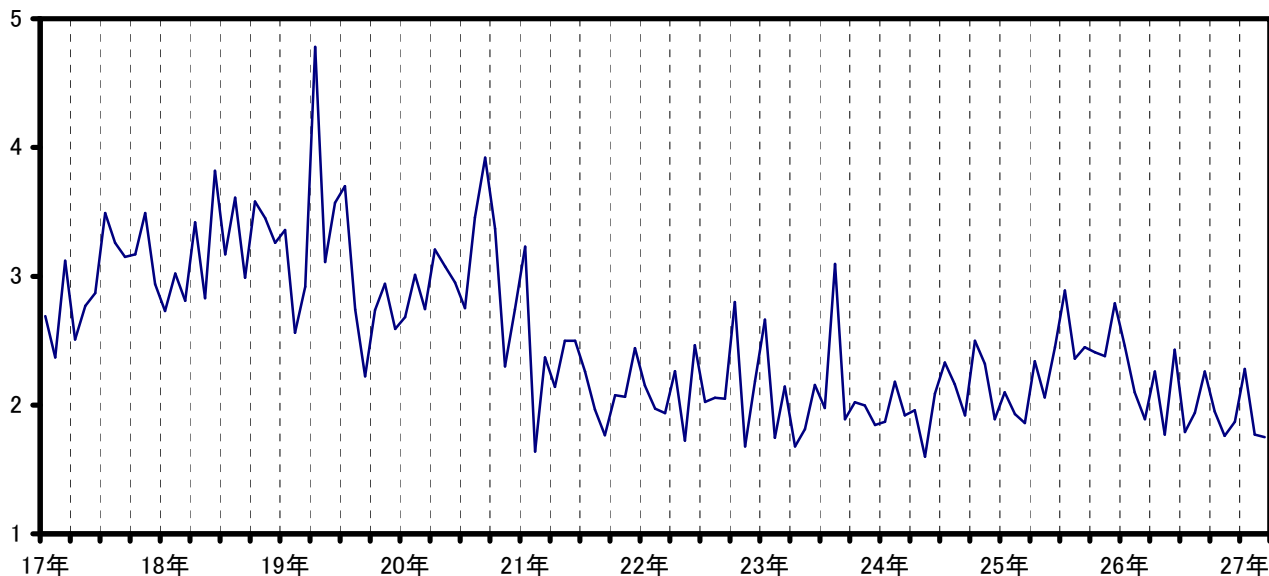
	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
戸数（戸）	1,943	2,261	1,953	1,756	1,871	2,278	1,771	1,751
前年同月比（%）	▲ 17.6	▲ 7.5	▲ 18.9	▲ 26.2	▲ 33.0	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 7.4
うち持家（%）	▲ 26.1	▲ 23.2	▲ 22.7	▲ 22.8	▲ 39.7	▲ 26.2	▲ 11.7	6.4
貸家（%）	▲ 14.4	3.2	▲ 22.8	▲ 24.3	▲ 24.0	▲ 22.7	▲ 40.6	▲ 20.4
分譲住宅（%）	12.7	46.3	15.0	▲ 38.7	▲ 26.4	161.9	96.0	▲ 20.7
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 12.5	▲ 14.3	▲ 12.3	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 3.1	0.7

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

3月 = 15,112百万円

*前年同月比： 9.9%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

3月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は15,112百万円で、前年同月比9.9%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は183件で、前年同月比16.8%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
金額(百万円)	23,140	41,715	21,030	14,446	15,445	9,478	8,099	15,112
前年同月比(%)	▲0.9	12.8	▲22.1	▲15.2	1.5	▲0.9	▲25.0	▲9.9
年度累計前年同月比(%)	0.8	3.1	0.0	▲1.1	▲0.9	▲0.9	▲1.9	▲2.3
件数(件)	710	1,314	854	685	749	462	288	183
前年同月比(%)	▲6.3	15.7	▲13.3	▲19.1	▲7.9	▲12.0	25.8	▲16.8
年度累計前年同月比(%)	▲5.4	▲0.1	▲2.5	▲4.7	▲5.0	▲5.5	▲4.6	▲4.9

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

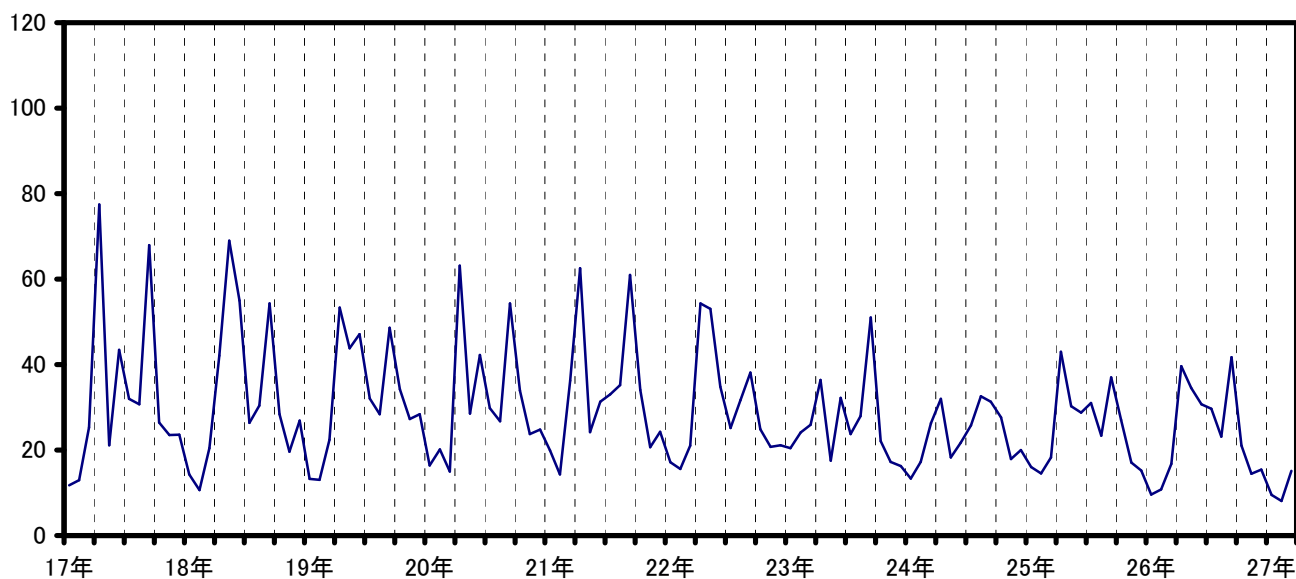
	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
国	14.6	▲16.5	▲24.2	206.1	343.1	▲2.4	▲57.4	▲2.9
独立行政法人等	▲7.5	▲50.7	▲92.2	▲4.4	▲78.4	1,452.9	65.6	▲62.8
県	▲12.8	37.1	▲24.3	▲31.0	▲18.1	▲36.3	3.1	9.4
市町	0.8	17.2	▲9.3	▲27.7	▲13.6	5.0	▲3.9	▲35.6
地方公社	90.8	▲76.1	67.1	—	▲25.5	▲44.2	—	—
その他	9.7	▲1.9	▲18.2	59.8	1,168.2	▲10.0	▲69.7	298.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 29.6%増）、非製造業（同 5.4%増）ともに増加する計画となっており、全産業（同 16.6%増）でも増加する計画となっている。
 平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 2.4%増）で増加、非製造業（同 0.6%減）で減少する計画となっており、全産業（同 0.9%増）で増加する計画となっている。
 3月の着工建築物床面積（非居住用）は61,410㎡で、前年同月比 69.0%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 (計画)	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 (計画)	前回調査 比修正率	27年度 (計画)	
全 産 業	県	16.6	0.5	11.2	0.6	20.6	0.5	0.9	
	全国	4.4	0.7	1.9	—	6.4	1.3	▲ 5.0	
	製 造 業	県	29.6	▲ 1.8	16.9	0.2	38.1	▲ 3.0	2.4
		全国	7.1	▲ 3.4	5.5	—	8.3	▲ 4.9	1.3
	非 製 造 業	県	5.4	3.2	6.7	0.9	4.5	5.1	▲ 0.6
		全国	3.1	2.9	0.1	—	5.5	4.6	▲ 8.0

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成27年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成27年3月調査)」

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	100,555	189,786	173,946	156,017	104,484	71,788	83,413	61,410
前年同月比（%）	▲ 41.0	24.8	126.4	101.5	▲ 23.4	▲ 63.8	▲ 8.3	▲ 69.0
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 2.0	▲ 20.4	13.3	▲ 10.9	▲ 17.3	▲ 16.4	9.4	▲ 18.9

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		26年12月	27年3月	27年6月 (予測)
全 産 業		1	1	▲ 1
	製 造 業	9	4	2
	非 製 造 業	▲ 6	▲ 2	▲ 5
（参考） 全国 ・ 全産業		6	7	5

（注）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成27年3月調査)」

5 輸出

3月 = 182,379百万円

*前年同月比： 0.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸出総額は182,379百万円で、前年同月比 0.6%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 22.2%減）が5か月連続、自動車（同 0.6%減）、自動車の部分品（同 0.3%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 7.0%増）、科学光学機器（同 11.0%増）がいずれも2か月ぶり、二輪自動車類（同 9.4%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 8.8%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 1.6%増）、EU向け（同 7.6%増）がいずれも2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
輸出総額(百万円)	154,661	168,706	175,585	162,486	190,421	166,118	163,172	182,379
前年同月比(%)	1.2	5.3	5.3	▲0.6	7.7	11.1	▲3.6	0.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
原動機	3.7	9.0	5.4	19.3	13.8	9.8	▲6.9	7.0
エアコン	0.8	▲12.3	39.3	▲14.9	▲19.7	▲3.5	▲19.0	▲22.2
自動車	▲11.2	▲14.6	29.0	26.9	11.5	9.1	▲13.2	▲0.6
自動車の部分品	16.9	12.4	7.3	▲13.5	▲0.8	2.7	▲4.3	▲0.3
二輪自動車類	1.1	28.6	11.3	26.9	10.8	14.1	5.3	9.4
科学光学機器	9.4	6.2	3.6	4.1	19.5	37.7	▲9.4	11.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
アジア	0.3	6.3	0.9	▲4.3	4.6	16.6	▲4.3	1.6
米国	12.9	8.0	21.7	5.7	32.9	3.0	▲0.8	▲8.8
EU	▲10.2	▲4.9	▲13.5	▲6.9	▲17.6	12.4	▲6.2	7.6

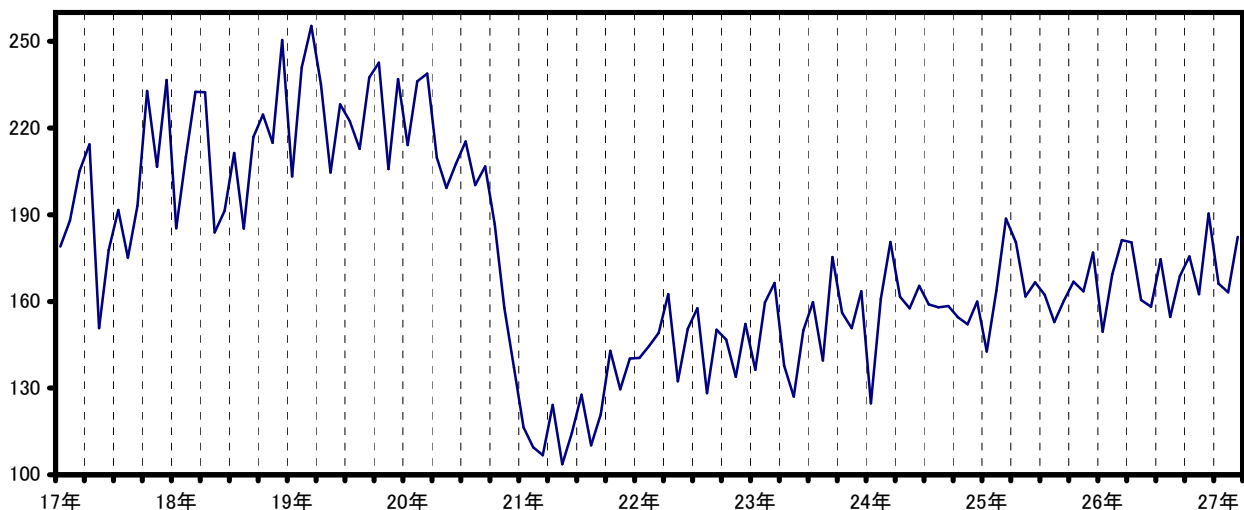
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

3月 = 87,217百万円

*前年同月比： 0.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

3月の清水税関支署管内の輸入総額は87,217百万円で、前年同月比 0.9%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 20.4%減）、紙類及び同製品（同 18.6%減）がいずれも2か月ぶり、原動機（同 59.6%減）が12か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 3.6%増）が2か月ぶり、パルプ（同 2.8%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 23.5%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 18.7%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、米国から（同 6.8%増）が2か月連続、EUから（同 22.9%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
輸入総額(百万円)	78,723	88,361	88,309	75,455	95,992	97,413	85,917	87,217
前年同月比(%)	5.3	21.9	7.5	▲1.5	20.1	14.4	9.1	0.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
魚介類	32.1	38.9	4.6	2.9	9.3	31.3	▲11.1	3.6
木材	▲29.1	1.3	23.2	▲13.2	▲2.3	▲5.4	11.5	▲20.4
パルプ	▲41.5	45.6	9.9	▲1.6	▲2.9	10.7	17.7	2.8
紙類及び同製品	27.1	33.9	15.6	▲11.0	▲21.0	▲17.6	14.2	▲18.6
原動機	▲73.7	▲73.9	▲67.7	▲67.2	▲48.4	▲54.4	▲37.9	▲59.6
自動車の部分品	▲15.7	▲6.3	▲12.1	▲18.4	▲3.1	▲10.9	19.0	23.5

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

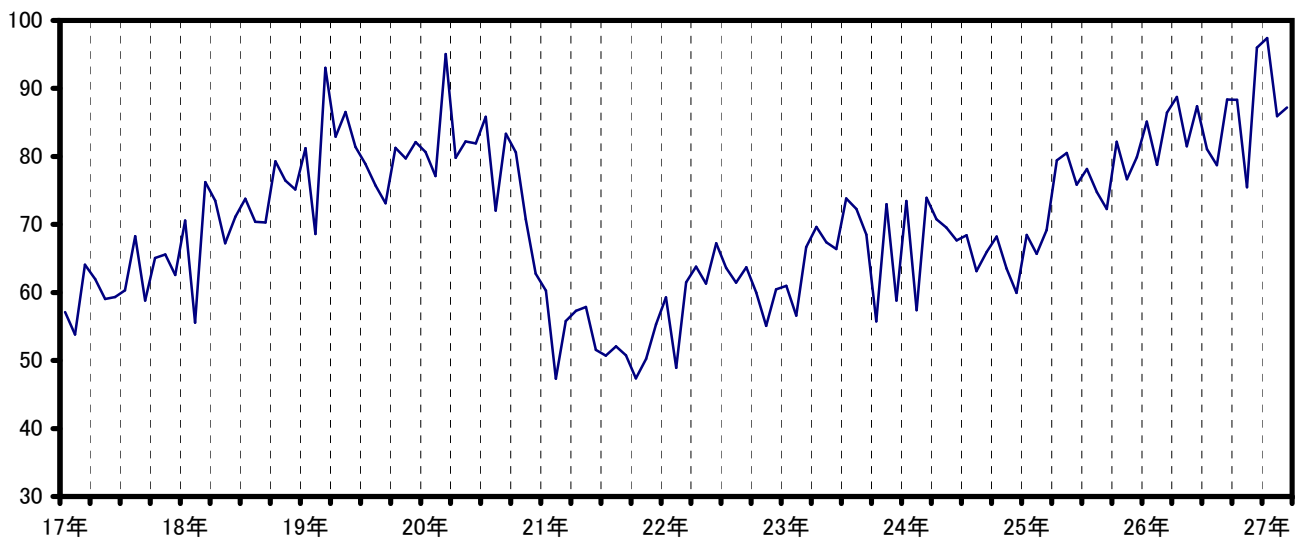
	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
アジア	▲8.6	18.4	▲2.8	▲0.4	16.3	▲0.2	23.5	▲18.7
米国	20.6	32.7	▲6.4	▲30.7	31.2	▲17.1	11.1	6.8
EU	16.2	72.7	41.3	12.9	2.0	60.8	10.0	22.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

3月 = 1,009,368千kWh

*前年同月比 1.7%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

3月の産業用大口電力消費量は1,009,368千kWhで、前年同月比 1.7%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、化学（前年同月比 5.1%増）が5か月ぶりに前年実績を上回ったものの、一般機械（同 3.7%減）が8か月連続、電気機械（同 1.1%減）、輸送機械（同 0.1%減）がいずれも3か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 9.6%減）が5か月連続、食品（同 1.8%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
消費量(千kWh)	997,227	1,050,479	1,039,590	984,002	967,630	939,323	929,943	1,009,368
前年同月比(%)	▲4.5	▲2.2	▲2.3	▲2.3	▲1.4	▲3.3	▲3.4	▲1.7
全国10社前年同月比(%)	▲2.1	▲1.5	▲2.3	▲1.2	▲0.6	▲1.8	▲2.6	▲2.3

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
一般機械工業	▲5.4	▲4.7	▲4.3	▲6.4	▲3.3	▲3.7	▲4.3	▲3.7
電気機械工業	▲3.2	▲1.0	▲1.0	▲0.7	1.0	▲0.3	▲0.9	▲1.1
輸送機械工業	▲5.2	▲3.5	▲4.9	▲4.7	0.0	▲2.5	▲1.9	▲0.1
化学工業	▲3.2	▲1.9	1.5	▲0.6	▲1.2	▲0.7	▲0.7	5.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲3.7	1.2	2.2	▲0.6	▲5.3	▲14.4	▲12.9	▲9.6
食品工業	▲3.7	▲4.0	▲4.7	▲1.3	0.4	0.3	▲2.5	▲1.8

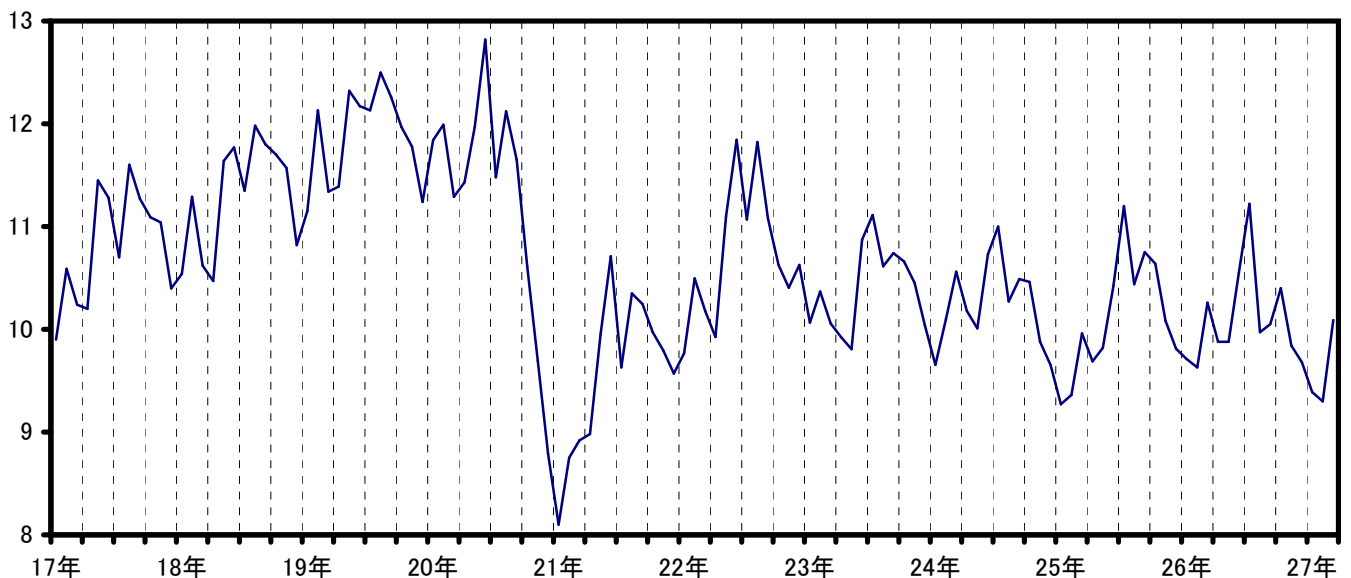
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

2月 = 98.3

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.9%増

*前年同月比(原指数) : 1.9%減

<概況>

2月の鋳工業生産指数(総合)は98.3(季節調整済指数)で、前月比0.9%増となり、3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は1.9%減と8か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比16.8%増)が3か月連続、輸送機械(同0.7%増)が8か月ぶり、化学(同2.8%増)が2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同16.7%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同3.7%減)が7か月連続、食料品・たばこ(同7.9%減)が9か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
指数	94.3	90.5	91.4	93.2	90.5	93.2	97.4	98.3
前月比(%)	2.5	▲4.0	1.0	2.0	▲2.9	3.0	4.5	0.9
前年同月比(%)	▲1.7	▲4.3	▲0.4	▲4.5	▲6.8	▲2.8	▲7.6	▲1.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.9	▲2.9	0.6	▲1.0	▲3.8	0.3	▲2.6	▲2.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	17.8	▲4.7	36.6	13.5	▲7.3	10.9	2.5	16.8
電気機械工業	▲4.9	▲11.0	1.3	▲0.4	▲9.7	▲3.7	▲10.4	▲16.7
輸送機械工業	▲2.8	▲2.0	▲6.0	▲4.3	▲7.7	▲4.0	▲9.0	0.7
化学工業	▲16.3	▲5.2	▲5.8	▲19.6	▲1.3	8.4	▲10.7	2.8
パルプ・紙・紙加工品工業	6.5	▲9.2	▲0.2	▲2.4	▲2.7	▲4.9	▲6.0	▲3.7
食料品・たばこ工業	▲3.7	▲6.3	▲8.8	▲7.7	▲9.5	▲13.1	▲8.7	▲7.9

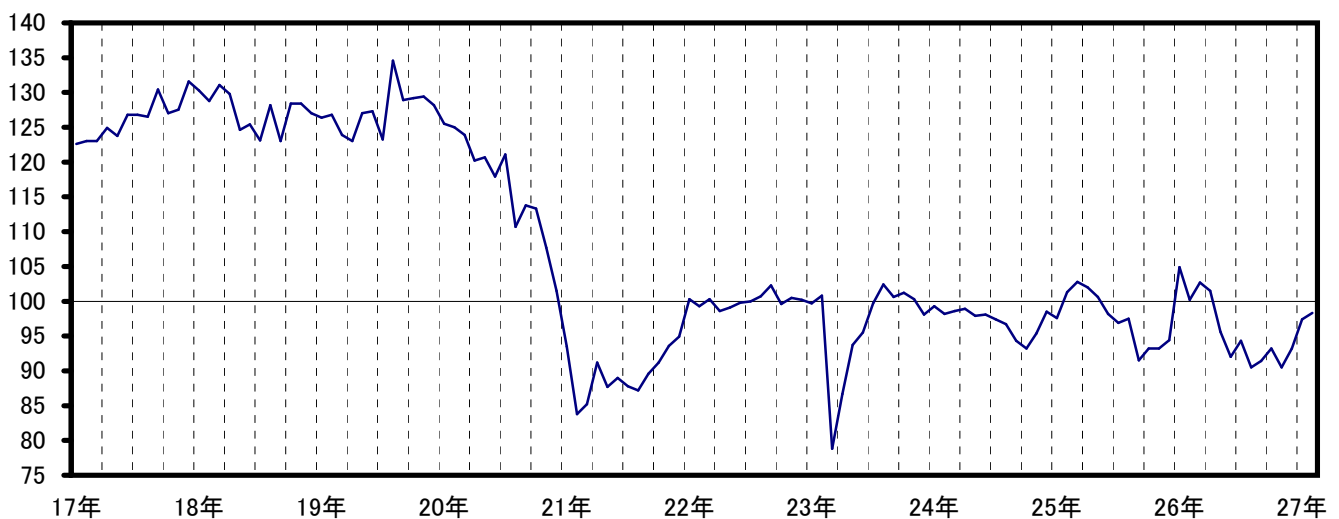
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

2月 = 102.4

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.0%増

*前年同月比(原指数) : 1.2%減

<概況>

2月の鉱工業在庫指数(総合)は102.4(季節調整済指数)で、前月比は2.0%増と8か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は1.2%減と3か月連続で前年水準を下回った。なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「意図せざる在庫減局面(景気拡大初期)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比 22.5%増)が14か月連続、輸送機械(同 35.1%増)が8か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同 4.2%増)が6か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 13.2%減)が5か月連続、化学(同 6.9%減)、食料品・たばこ(同 1.4%減)がいずれも3か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
指数	112.3	110.1	106.6	103.7	102.9	101.3	100.4	102.4
前月比(%)	▲0.9	▲2.0	▲3.2	▲2.7	▲0.8	▲1.6	▲0.9	2.0
前年同月比(%)	6.3	5.0	1.3	1.0	0.9	▲1.0	▲6.6	▲1.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.8	4.7	3.9	3.9	6.4	6.1	5.7	7.3

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	7.8	0.7	2.1	▲1.9	▲2.6	▲1.6	▲12.5	▲13.2
電気機械工業	36.0	35.4	33.5	35.5	29.6	34.6	21.2	22.5
輸送機械工業	▲13.6	▲5.2	▲18.5	▲6.8	▲3.2	▲27.4	▲22.6	35.1
化学工業	28.4	6.3	9.4	▲2.8	2.4	▲1.3	▲9.4	▲6.9
パルプ・紙・紙加工品工業	6.0	3.2	▲1.1	▲4.6	▲0.7	▲2.1	▲1.1	4.2
食料品・たばこ工業	▲8.6	9.2	9.0	8.7	2.4	▲2.6	▲8.4	▲1.4

(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

3 月 = 1.12倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

3月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.12倍となり、前月を0.01ポイント下回った。また、3か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比6.5%増）は21か月連続で前年実績を上回った。

これを産業別にみると、情報通信業（同4.4%減）で前年実績を下回ったものの、建設業（同11.1%増）、製造業（同1.7%増）、運輸業・郵便業（同17.8%増）、卸売業・小売業（同6.8%増）、医療・福祉（同6.1%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同19.1%増）で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
県	1.08	1.09	1.11	1.12	1.14	1.13	1.13	1.12
全 国	1.10	1.10	1.10	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
建 設 業	8.6	2.9	3.1	3.5	▲ 2.7	0.9	1.4	11.1
製 造 業	10.9	18.1	8.2	12.1	11.4	▲ 1.5	9.3	1.7
情 報 通 信 業	61.8	71.3	27.2	19.1	87.2	32.2	29.3	▲ 4.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	12.1	10.4	8.1	▲ 8.2	9.3	▲ 1.1	▲ 7.6	17.8
卸 売 業 ・ 小 売 業	48.0	36.5	1.7	49.1	26.7	▲ 37.1	5.4	6.8
医 療 ・ 福 祉	7.7	22.1	24.0	13.5	24.6	13.5	2.0	6.1
サービス業（他に分類されないもの）	11.2	38.4	▲ 1.1	▲ 3.5	8.2	34.1	12.5	19.1
合 計	12.6	19.0	11.5	7.5	13.6	4.7	0.6	6.5

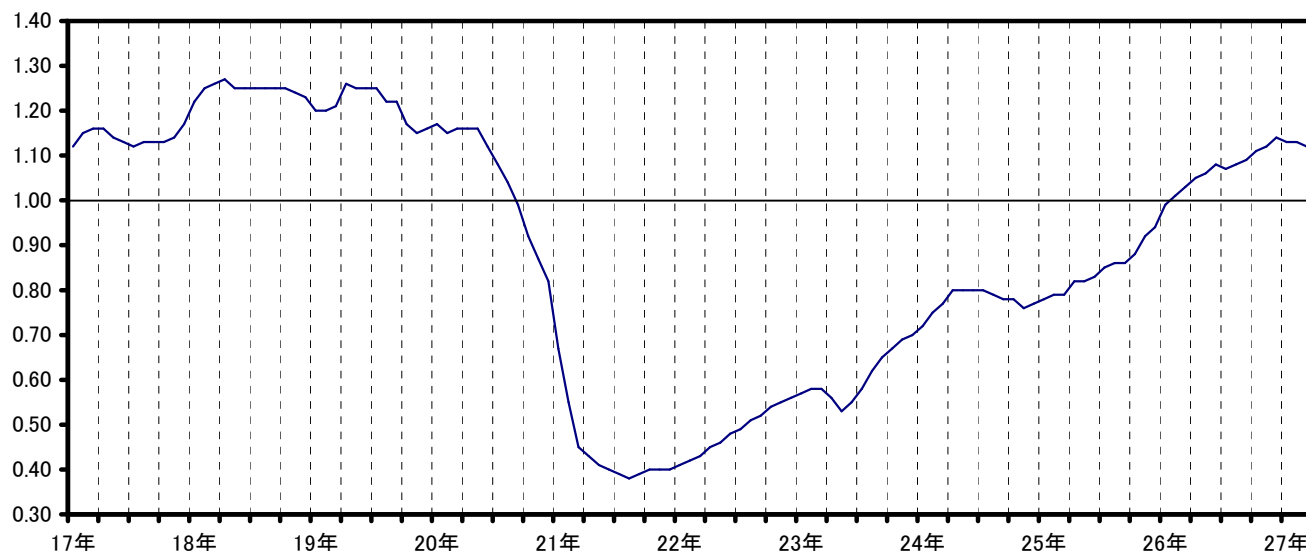
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

3月 = 12,934人

*前月比: 1.9%減

*前年同月比: 2.7%減

<概況>

3月の雇用保険受給者実人員は12,934人で、前月比は1.9%減と2か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は2.7%減と20か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.4%で、前月から0.1ポイント改善した。
 静岡県(平成26年10~12月)の完全失業率は2.6%で、前期(26年7~9月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
実人員(人)	15,612	15,544	15,653	14,160	13,847	13,925	13,190	12,934
前月比(%)	▲1.3	▲0.4	0.7	▲9.5	▲2.2	0.6	▲5.3	▲1.9
前年同月比(%)	▲13.5	▲9.7	▲6.9	▲8.2	▲6.7	▲7.0	▲5.3	▲2.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲12.9	▲8.8	▲10.4	▲11.2	▲8.2	▲9.5	▲7.5	▲5.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
完全失業率(全国)(%)	3.5	3.6	3.5	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4

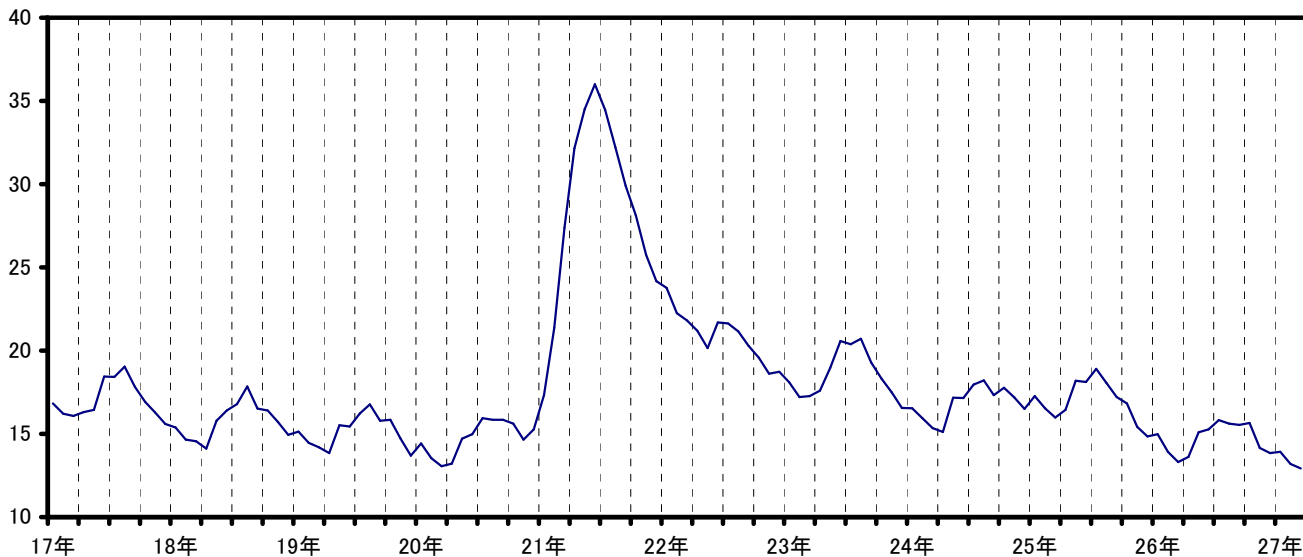
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

2月 = 113.3

*前月比(季節調整済指数): 1.3%増

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 3.4%増

<概況>

2月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は113.3(季節調整済指数)で、前月比1.3%増となった。また、前年同月比(原指数)は3.4%増となり、3か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、卸売業・小売業(前年同月比1.6%減)が2か月ぶり、その他サービス業(同23.7%増)が35か月連続で前年水準を下回ったものの、建設業(同15.0%増)が2か月連続、製造業(同7.2%増)、医療・福祉(同18.4%増)がいずれも7か月連続、運輸業・郵便業(同2.2%増)が27か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
指数	100.5	106.8	107.9	107.3	107.4	110.7	111.9	113.3
前月比(%)	▲4.7	6.3	1.0	▲0.6	0.1	3.1	1.1	1.3
前年同月比(%)	▲0.2	4.7	6.2	2.9	▲0.7	2.9	3.7	3.4
(参考)全国前年同月比(%)	2.1	0.6	1.4	0.6	0.5	1.3	0.6	0.5

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月
建設業	▲5.2	8.6	▲11.1	▲18.9	2.3	▲1.0	10.4	15.0
製造業	▲0.8	7.2	2.2	0.4	1.4	3.2	5.0	7.2
情報通信業	▲30.7	▲5.4	▲7.4	4.4	▲41.6	▲27.4	▲36.5	20.2
運輸業・郵便業	17.4	9.8	15.7	17.2	15.2	3.4	2.0	2.2
卸売業・小売業	4.2	6.9	8.6	5.6	1.4	▲3.7	8.0	▲1.6
医療・福祉	▲2.6	0.8	4.2	9.6	2.4	11.0	1.8	18.4
その他のサービス業	▲12.5	▲13.8	▲17.6	▲18.9	▲27.8	▲13.8	▲15.7	▲23.7
調査産業計	▲0.2	4.7	6.2	2.9	▲0.7	2.9	3.7	3.4

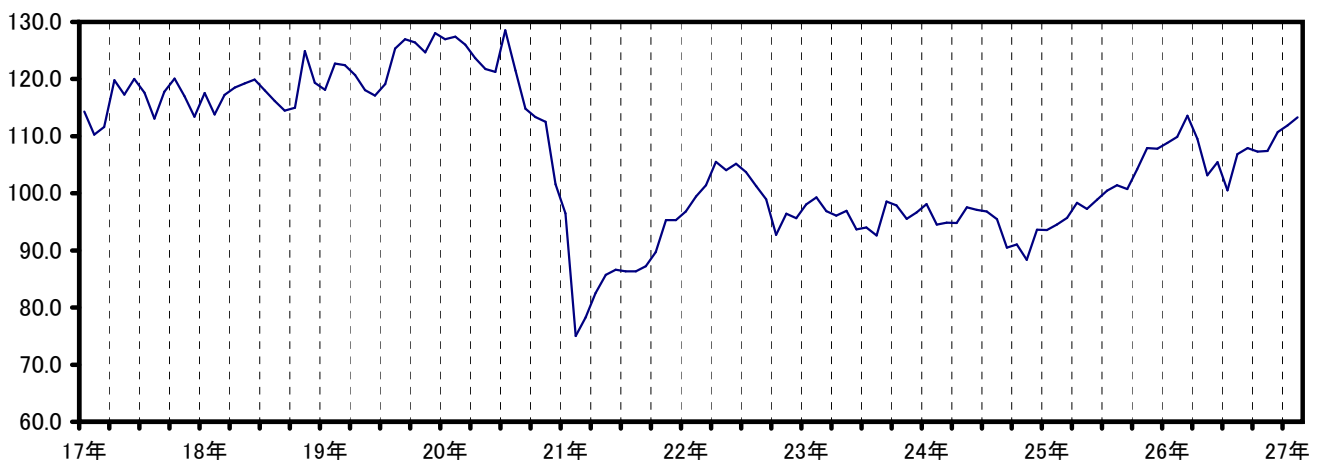
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

4 月 = 103.6

*前 月 比: 0.1%上昇

*前年同月比: 2.1%下落

(平成22年=100)

<概 況>

4月の国内企業物価指数は103.6となり、前月比は0.1%の上昇となった。また、前年同月比は2.1%の下落となった。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月	4月
国内企業物価指数	106.4	105.5	105.2	104.7	103.3	103.2	103.5	103.6
前 月 比 (%)	▲ 0.1	▲ 0.8	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 0.1	0.3	0.1
前年同月比 (%)	3.6	2.9	2.6	1.8	0.3	0.4	0.7	▲ 2.1

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

4 月 = 103.5

*前 月 比: 0.3%上昇

*前年同月比: 0.5%上昇

(平成22年=100)

<概 況>

4月の消費者物価指数(総合)は103.5となり、前月比は0.3%の上昇となった。また、前年同月比は0.5%の上昇となった。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月	4月
消費者物価指数	103.9	103.5	103.0	102.9	102.9	102.8	103.2	103.5
前 月 比 (%)	0.2	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.4	0.3
前年同月比 (%)	3.5	3.0	2.5	2.2	2.3	2.2	2.4	0.5

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

3 月 = 134,686億円

*前 月 比: 1.8%増

*前年同月比: 2.6%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

3月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は134,686億円で、前月比1.8%増、前年同月比は2.6%増となった。

	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
貸出残高(億円)	130,566	132,656	131,113	131,751	133,572	132,402	132,274	134,686
前 月 比 (%)	0.1	1.6	▲ 1.2	0.5	1.4	▲ 0.9	▲ 0.1	1.8
前年同月比 (%)	2.7	2.9	3.1	3.2	3.2	3.4	3.2	2.6

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

3 月 = 2.124%

*前 月 差: 0.018ポイント減

*前年同月差: 0.044ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.124%で、前月から0.018ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.044ポイントのプラスとなった。

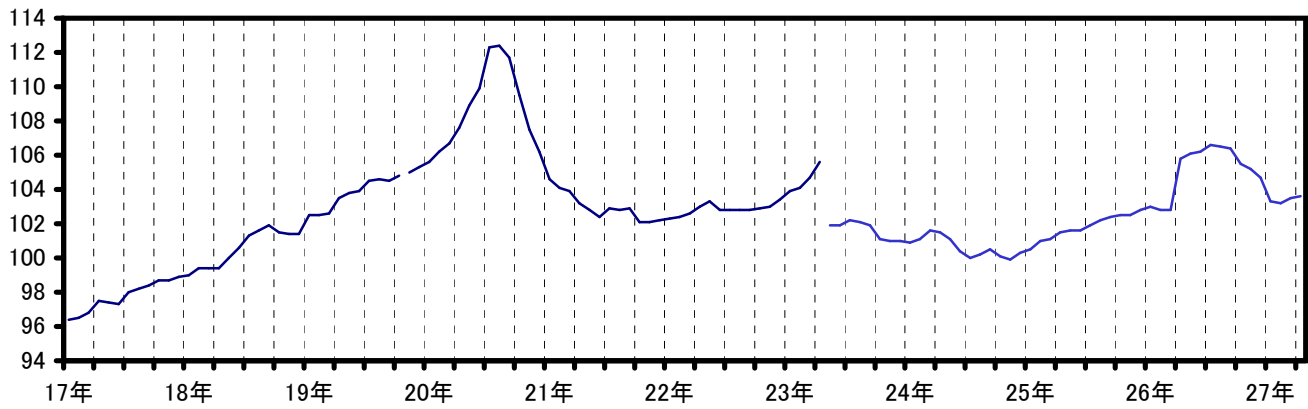
	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
貸出約定金利(%)	2.112	2.109	2.124	2.126	2.118	2.131	2.142	2.124
前月差(ポイント)	0.020	▲ 0.003	0.015	0.002	▲ 0.008	0.013	0.011	▲ 0.018
前年同月差(ポイント)	0.030	0.043	0.042	0.044	0.048	0.021	0.036	0.044

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

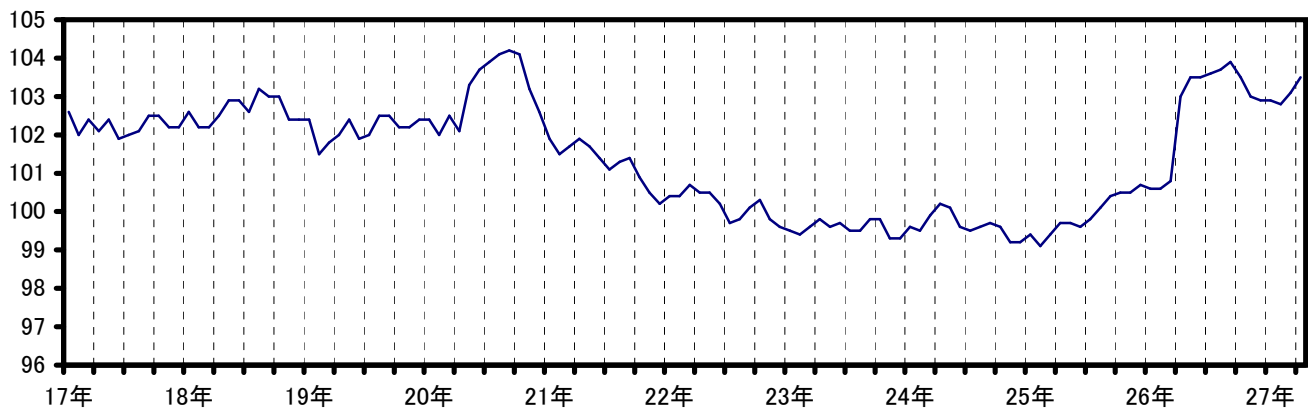
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



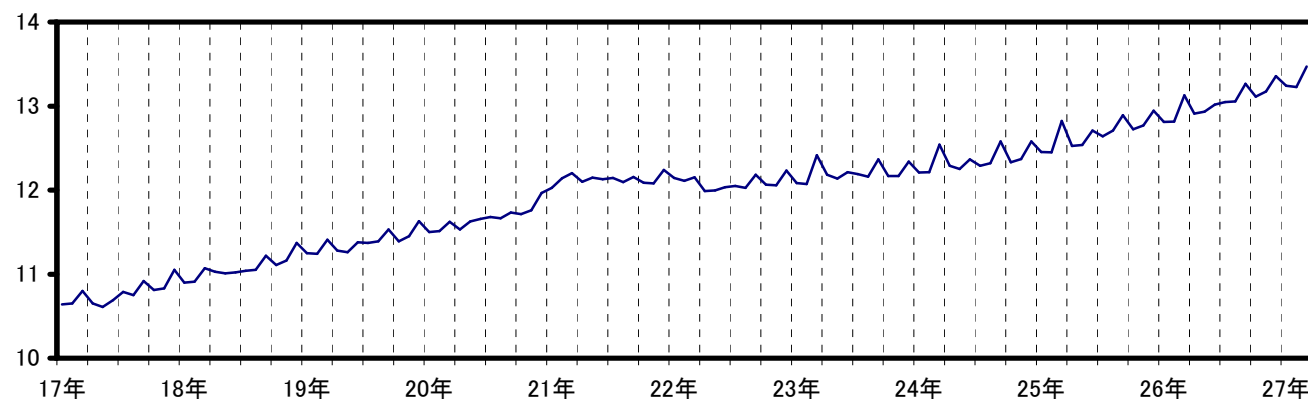
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



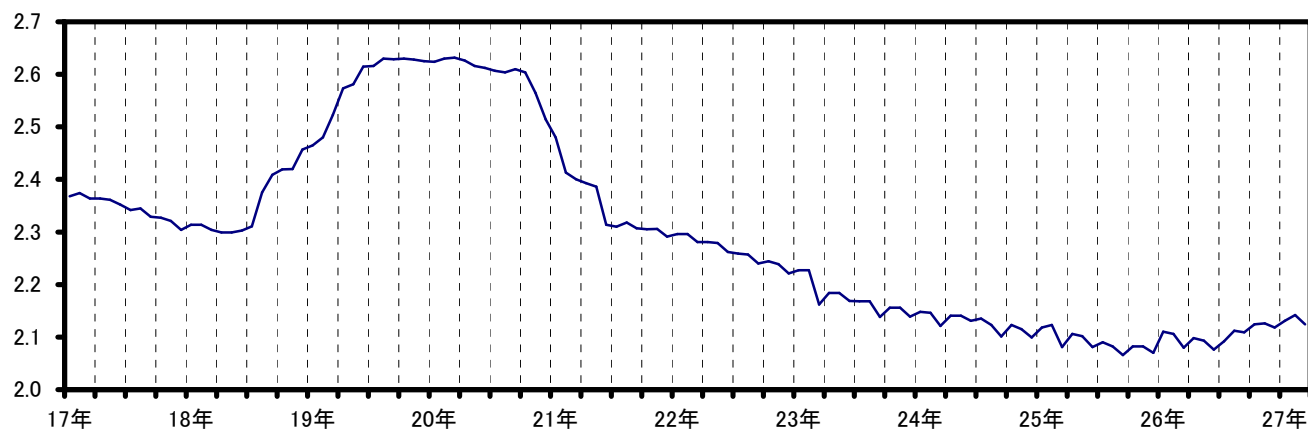
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**3月 = 30,874百万円**

*前年同月比： 7.6%減

<概況>

3月の保証承諾は、金額が30,874百万円（前年同月比 7.6%減）と29か月連続で前年実績を下回り、件数は3,215件（同 0.4%増）と45か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年8月	9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月
保証金額（百万円）	21,610	26,540	20,926	21,189	30,756	18,715	21,165	30,874
前年同月比（%）	▲ 15.6	▲ 12.7	▲ 11.9	▲ 18.6	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 2.4	▲ 7.6
保証件数（件）	2,290	2,827	2,206	2,165	3,173	1,941	2,340	3,215
前年同月比（%）	▲ 12.7	▲ 4.8	▲ 13.5	▲ 19.5	▲ 6.0	▲ 8.8	▲ 3.0	0.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**4月 = 119.55円/ドル**

*前月差： 0.84円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 16.99円安

<概況>

4月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は119.55円で、前月と比べて0.84円の円高となり、3か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	26年9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月	4月
平均相場（円）	107.09	108.06	116.22	119.40	118.24	118.57	120.39	119.55
前月差（円）	4.13	0.97	8.16	3.18	▲ 1.16	0.33	1.82	▲ 0.84
前年同月差（円）	7.85	10.21	16.19	15.94	14.30	16.44	18.12	16.99

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****4月 = 25件**

*前年同月比： 8.6%増

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は25件、負債総額は4,007百万円といずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が20件と全体の80.0%を占め、209か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

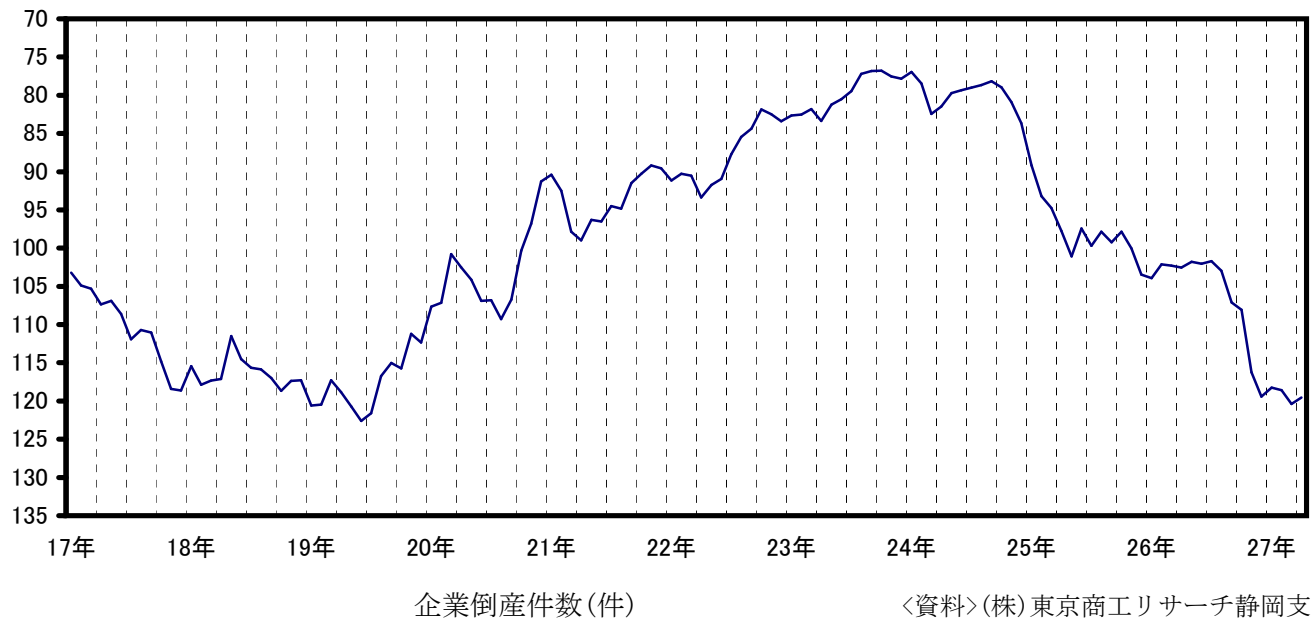
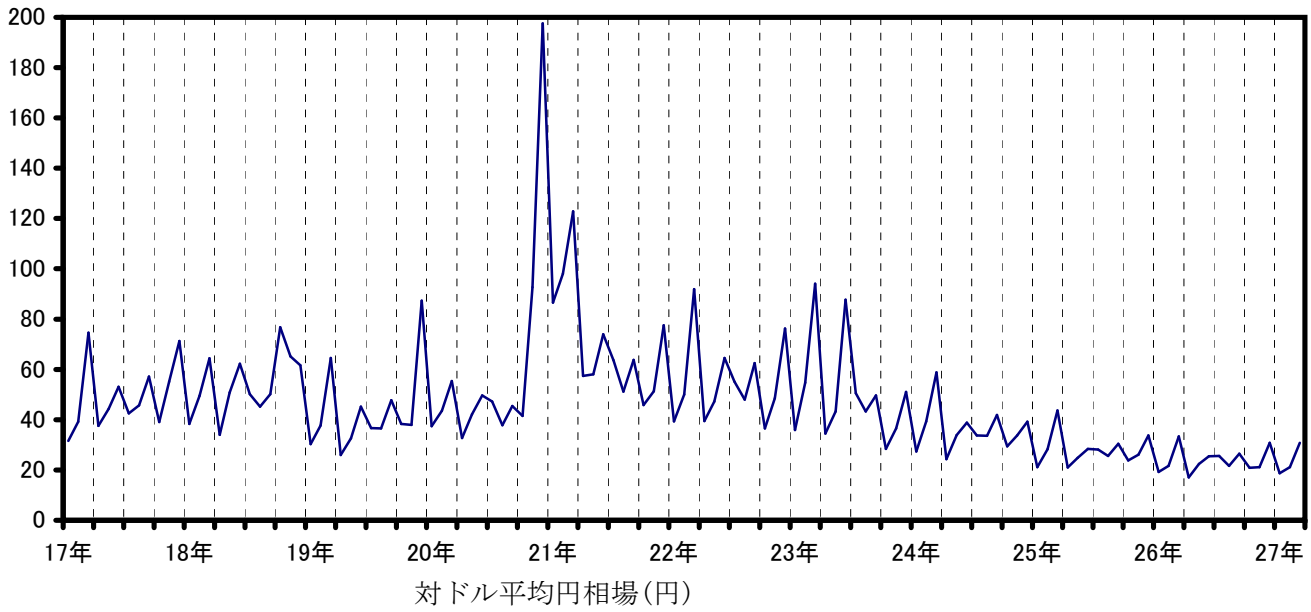
	26年9月	10月	11月	12月	26年1月	2月	3月	4月
倒産件数（件）	31	30	24	22	25	18	23	25
前年同月比（%）	63.1	▲ 11.7	▲ 29.4	▲ 26.6	8.6	▲ 30.7	▲ 14.8	8.6
うち不況型倒産件数(件)	28	20	24	17	20	13	21	20
負債総額（百万円）	7,686	3,183	2,935	3,941	6,396	1,965	2,983	4,007
前年同月比（%）	18.5	▲ 61.3	▲ 29.9	▲ 34.1	92.7	▲ 52.2	▲ 21.0	43.5

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

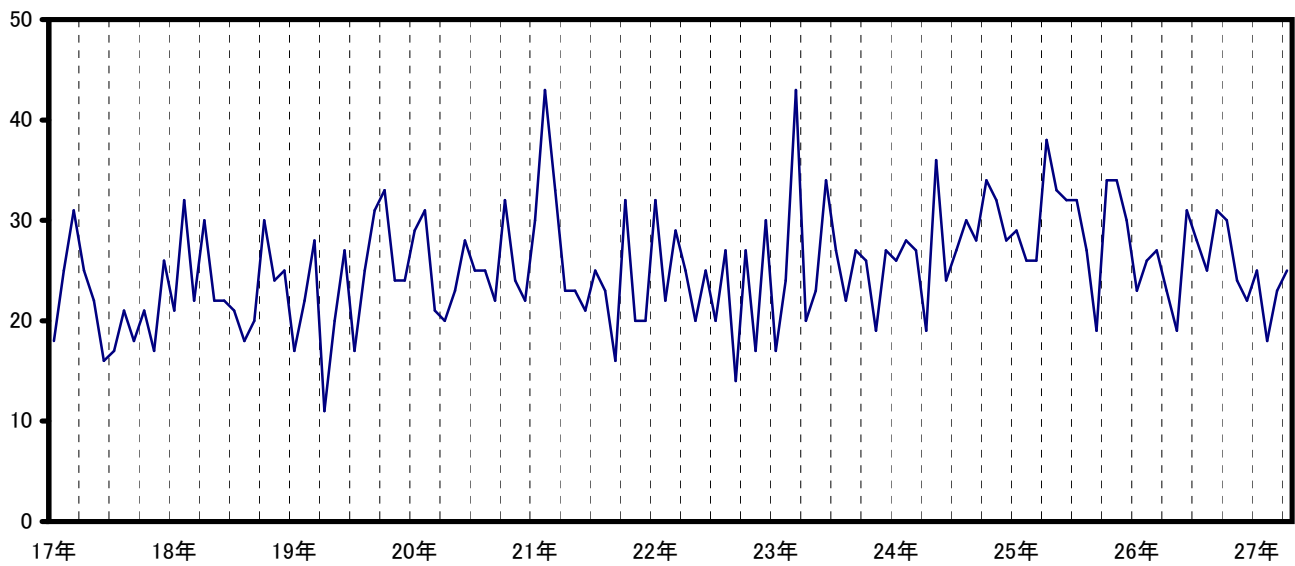
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年3月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>3月の国内二輪車生産台数は、50,204台（前年同月比12.5%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。車種別では、原付第一種（50cc以下）のみが6,777台（同5.5%増）と前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数では、国内は40,525台（同25.2%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。いずれの車種も前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けも44,630台（同1.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回ったが、アジア向けは3,956台（同62.1%増）と先月に引き続き好調であった。また、車種別では、軽二輪車（126～250cc以下）が4,249台（同22.4%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>3月の自動車国内生産台数は878,488台（前年同月比6.5%減）となり、9か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は396,796台（同2.8%増）となり、2か月ぶりに前年同月を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月連続のプラスとなったものの、乗用車が9か月連続でマイナスとなっていることから、全体でも9か月連続でマイナスとなっている。</p> <p>輸出は、欧州向けが7か月連続でマイナスとなったものの、北米向けが2か月ぶりにプラスとなったことから、全体では2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>3月の冷蔵庫の国内出荷額は359億9,100万円（前年同月比32.6%減）、また、国内出荷台数は404千台（同25.5%減）で、ともに6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>3月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは686千台（同14.4%減）で、11か月連続で前年実績を下回った。また、業務用は84千台（同2.0%増）となり、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>2月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,785千台（同29.8%増）と2か月連続で前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、冬モデルの販売が好調で、804千台（同52.8%増）となった。単月のスマートフォン比率は45.0%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用 機械	<p>3月の工作機械の受注総額は、1,473億8,000万円（前年同月比14.9%増）と、18か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は917億7,000万円（同1.5%増）、内需は556億1,000万円（同46.8%増）といずれも前年実績を上回った。特に、外需では欧州向けが160億9,300万円（同5.8%増）と好調であり、また内需では、自動車業界向けが215億7,900万円（同59.4%増）と好調であった。</p> <p>一方、県内中小企業からは、国内向け設備の代替需要出始めの動きがある一方で、足元の売上が前年割れする企業が増えつつあり、バラつきはあるものの景況感に陰りが見え始めているとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>3月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億1,600万円（前年同月比28.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが28億8,700万円（同5.8%増）で、国内向けが27億2,900万円（同47.0%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,855台（同4.2%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。機種別では、アップライトピアノが1,785台（同2.9%減）、グランドピアノが1,070台（同18.5%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,865台（同1.7%増）、国内向けが1,236台（同41.2%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>3月の紙・板紙の国内出荷高は、2,255千トン（前年同月比4.5%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は1,300千トン（同4.9%減）で、12か月連続で前年実績を下回り、板紙も955千トン（同4.0%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、742千トン（同3.3%減）と12か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、147千トン（同14.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>3月の県内生産量は、食缶類が国内向け927千箱（前年同月比4.7%減）と、前月のプラスから再びマイナスに転じ、前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は708千箱（同1.7%増）と2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も522千箱（同1.4%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は219千箱（同20.8%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,976千箱（同18.6%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>3月の広幅織物の県内生産は、1,519千㎡（前年同月比3.7%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,446千㎡（同4.1%減）であり、別珍・コールテンの生産は、73千㎡（同4.0%増）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、38千㎡（同1.7%減）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、県内外そして海外へと各種展示会への出展による新規需要・販路開拓を図っている。3月は、遠州織物等を使ったシャツを紹介する「ふじのくにシャツ2015 Spring発表会」を開催し、産地活性化のため、官民一体となった取組を行っている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>3月の全国百貨店での家具販売額は、76億3,100万円（前年同月比35.4%減）で、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、431億9,700万円（同18.4%減）であった。</p> <p>消費増税前の駆け込み需要により好調であった昨年度と比較すると、前年比で厳しいものとなった。こうした中、県内業界では、首都圏で開催される各種見本市に出展するなど、販路拡大に取り組んでいる。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、静岡県地域産業課</p>
小 売 業	<p>3月の県内の大規模小売店舗（店舗面積1,000㎡超）の新設届出は7店舗であり、地域別では東部2店舗、中部3店舗、西部2店舗であった。</p> <p>店舗面積が15,000㎡を超える店舗の新設が3年ぶりに1店舗あった。</p> <p>平成26年度の新設届出は23件となり、前年度を1件上回った。</p> <p>3月の県内商店街においては、まちゼミ、100円商店街、軽トラ市等の商業活性化のための取組が行われた。</p> <p>また、県内に魅力ある個店を増やし、地域商業の活性化を図るため、県が登録し、支援する「ふじのくに魅力ある個店」の店舗数は3月末で462件となった。</p> <p>さらに、県内33の市町では、政府が進める地方創生に関連した「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金」制度を活用し、地域経済の活性化を図るため、プレミアム商品券の発行を決定した。</p> <p>＜資料＞静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約47万人で、前年同月比27.5%の増となった。西遠地域が浜名湖花フェスタ等のイベントにより大きく増加した。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約76万台で、前年同月に対して横ばいとなった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
完成車生産台数(台)	21,600	16,426	20,320	25,301	22,094	21,785	19,802	21,173	21,577
前年同月比(%)	22.5	12.0	12.3	29.0	9.6	18.2	12.4	2.7	6.4
KD輸出額(百万円)	1,110	956	1,265	1,018	1,151	1,194	1,127	1,010	1,030
前年同月比(%)	5.0	▲6.4	14.3	▲10.5	▲6.4	18.2	8.0	4.7	17.5

<楽 器>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
生産総額(百万円)	4,759	3,332	3,852	3,846	3,429	3,467	3,384	3,419	3,662
前年同月比(%)	27.7	9.5	15.6	▲2.2	▲12.1	▲5.0	▲4.5	▲3.0	17.1

<缶詰>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
食缶生産高(千ケース)	971	875	873	903	859	755	790	889	930
前年同月比(%)	▲4.4	4.9	▲7.6	▲0.9	▲7.1	▲6.1	▲3.8	15.5	▲4.8
うち水産缶詰(%)	▲3.1	8.9	▲6.8	5.8	▲2.2	▲5.9	0.9	12.8	2.7
農畜産缶詰(%)	▲8.0	▲5.2	▲10.3	▲18.9	▲20.9	▲6.6	▲15.7	23.1	▲24.1
飲料缶生産高(千ケース)	8,954	8,195	6,170	6,252	6,943	6,593	4,946	5,202	6,976
前年同月比(%)	▲11.6	▲11.9	▲27.5	▲22.1	▲15.5	▲10.2	▲14.3	▲26.9	▲18.6

<織 維>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
広幅織物(千㎡)	1,170	1,094	1,299	1,430	1,580	1,535	1,443	1,508	1,519
前年同月比(%)	▲10.1	▲4.6	▲3.6	▲5.9	▲4.7	▲5.4	▲11.6	▲5.3	▲3.7
小幅織物(千㎡)	39	39	42	38	36	37	36	38	38
前年同月比(%)	▲19.4	▲17.6	▲11.7	▲19.4	▲23.5	▲21.1	▲3.7	6.3	▲1.7

<観 光>

	26年7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年1月	2月	3月
観光施設(10施設)入込 (千人)	261	565	433	357	401	218	252	244	470
前年同月比(%)	▲20.6	1.9	▲1.0	▲5.2	▲2.4	▲16.3	▲11.5	30.4	27.5
有料道路(5路線)通行量 (千台)	702	841	679	649	696	674	623	606	762
前年同月比(%)	12.0	7.8	18.5	17.7	16.5	18.0	15.2	17.3	0.0

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年5月号 通巻469号

発行 静岡県経済産業部
平成27年5月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>